

全国の小学校が対象! 梅を使った食育出前授業

紀州南高梅の食育活動を支援 ～JA共済連 和歌山県本部～

JA共済連では共済事業とともに、組合員・地域住民のみなさまが安心して暮らせる地域社会を目指し、地域貢献活動に取り組んでいます。さらに各都道府県本部では、地域の特性を活かした独自の地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。今回は10月号から3回にわたり、様々な特徴のある活動をご紹介します企画の第2弾です。

活動をサポートする
JA紀州梅の郷支店
職員インタビュー

支店長の佐々木教人さん

「梅愛隊」の魅力は、農家が来てみなべ弁で直接話をすること。生産者の影響力は大きいです。全国の児童たちがみなべ町や農業に興味をもってくれば、それが地域の活性化にもつながると信じています。JA共



済連の支援でこの様な食育活動が継続できるのは本当にありがたいですね」

岩代出張所長の中川隆士さん

「児童たちに南高梅の話をする、質問が次から次にたくさん出て、旺盛な好奇心に驚きます。一人でも多くのおみなさんに南高梅を知ってもらいたい。そしておいしいだけでなく、体に良いということも知ってもらいたい」



われ先にと質問する児童たち

梅の特徴について説明するJA紀州の中川さん

体にとっても良いんだよ!

梅ジュース作りにトライ!

梅ジュース作りは梅愛隊の林さんが指導します。はじめに持参した容器と梅の実、氷砂糖が児童たちに配られ、授業がスタート。梅は冷凍すると細胞が壊れて果汁が出やすくなり、生よりも早く1週間でジュースができるとポイントを説明。いよいよ梅ジュース作りです。容器に梅の実と氷砂糖各300グラムを交互に詰めて完了。「明日から毎日、朝と晩に『おいしくなれ』とおまじないを言って、5回容器をゆっくり回すこと」という言葉に、児童たちはみんな笑顔でうなずいていました。

梅愛隊 林弘子さん

「梅愛隊」とは

JA紀州管内の梅農家10名で結成。全国で講習会や店頭販売を行い「紀州みなべの南高梅」のPR活動を行っている。

果汁がこんなに
出るんだよ

梅ジュース作りの実習。林さんが手で梅の実の果汁を絞ってみせる様子を真剣なまなざしで見つめる児童



どんな
味かな～

恐る恐る試飲をする



慎重に、
慎重に



児童たちは少し緊張しながら、梅と氷砂糖を交互に容器に詰めます

紀州みなべの南高梅とは?
和歌山県で栽培されている、みなべ発祥の最高級ブランド梅。皮が薄く、果肉がやわらかいのが特徴で、梅干しや梅酒、梅ジュースなどに最適とされ、日本はもちろん、世界中で認知されています。



地域団体商標 登録5003836号

子どもたちの感想

★「お母さんが作るのもっと酸っぱいけれど、今日飲んだ梅ジュースはおいしかったので、家に帰ったらお母さんに作り方を教えてあげたいです」
★「焼き梅はダイエットにいいと教えてもらいました。お父さんが太っているの、教えてあげたいと思います」
★「おにぎりの梅干しを食べるくらいで、今まで梅は酸っぱくてあまり好きじゃなかったけれど、この梅ジュースは甘酸っぱくておいしかったです」
★「今度は梅の料理を教えてください。農家の人に教えてもらうのは、とてもわかりやすくて、楽しかったです」

先生インタビュー

●小学校栄養教諭の柏原先生

「出前授業には、昨年私が応募しました。昨年も今年も大好評です。清瀬は比較的自然が多い地域ですが、児童たちが梅の実を見る機会ほとんどありません。児童にとって自分の手で食べ物を作り、家族と一緒に食べることは、とても貴重な経験になるはずです」

●3年生の担任の中野先生

「児童たちが梅の話に興味津々で、自分から積極的に質問している姿を見て、とても驚きました。折りにふれて農業や自然に関する体験学習を取り入れていくのは、児童の成長に必ず役立つと思います。梅愛隊さんには、今後ぜひ出前授業を続けてほしいですね」



栄養教諭の柏原先生(左)と3年生の担任の中野先生(右)



JA共済の地域貢献活動はこちら

JA共済 ちいきのきずな

検索

農家の出前授業で
梅の魅力を伝える

JA紀州、JA紀南、みなべ町、田辺市でつくる「梅食育普及促進協議会」では、次代を担う小学生にも梅の効能を知ってもらい、食育を通じた梅の消費拡大を図るため、平成二十八年三月に南高梅の特徴などをマンガでわかりやすく紹介した「梅パワーのひみつ」を発刊し、全国の小学校、公立図書館に寄贈しました。その際に梅の出前授業の希望を募る往復はがきを同封したところ、全国三十六都道府県の一二五校から依頼があり、同協議会では四者（JA紀州、JA紀南、みなべ町、田辺市）が手分けして全校を回り、梅授業を実施することを決定し、現在に至っています。今回東

京都清瀬市にある小学校で実施した梅授業は、JA紀州の担当。梅愛隊の林さんとJAの職員が実施した出前授業に密着しました。

授業ではまず、梅の歴史や旬、南高梅の特徴について紹介。熱中症予防や殺菌作用などの効能や、梅には四〇〇もの品種があることなどを聞くと、児童たちから「えーっ」「すごい!」と驚きの声が上ががり、多くの質問が飛び交いました。

そして、お待ちかねの梅ジュース作り。まずは試飲。恐る恐る口に運ぶとすぐに笑顔がいつぱいに広がり、「甘くておいしい!」「もっとすっぱいと思った」と大興奮。これから自分で作るんだ!と思うと、自然と気合が入り、まなざしは真剣そのもの。みんなで一生懸命梅ジュースを作りました。今回講師を務めた梅愛隊の林さんは「私は梅農家で、二十一年前からPRを続けています。出前授業では北海道から沖縄まで全国各地を飛び